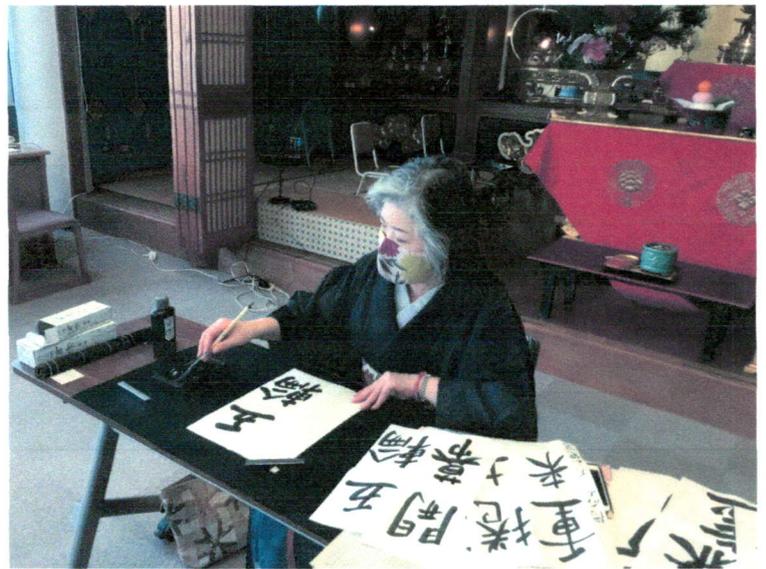


新春書初め



去る1月3日(日)の午後1時半~徳成寺において、本年最初の寺ともサービスデー「新春書初め」が開かれました。2007年の第一回以来毎年1月は「もちつき会」をしていましたが、この度は新型コロナウイルスの感染防止のために断念致しました。悔しくもありましたが、「新春書初め」はメディアでも注目していただいて、NHK 高松放送局のAM・FM ラジオでお知らせ頂いたり、朝日新聞から問い合わせ頂きました。そして毎日新聞が当日取材に来たりしました。

この日、指導してくれたのは坊守です。幼稚園の頃から習字教室に通い、子育てが一段落した今もコミュニティーセンターの書道教室に通い稽古に励んでいます。書初めのスタイルは様々ですが、この日は1年の抱負を書く通常の書初めの前に、昨年1年間で嫌だったこと、忘れたいことなどを書いてウォーミングアップしました。



嫌だった事柄を書いたら、その半紙を丸めてゴミ箱に次々と捨てていきます。すると不思議なことに、ほんのちょっと胸のつかえがおりて少し楽になる感じがしましたよ。

気持ちがスッキリしたところで、いよいよ本番の新年への抱負を書きました。そこには思い思いの言葉が書かれました。漢字一文字もあれば、漢字二文字や四文字熟語もありました。それぞれの願いがこめられていました。頭の中で思いを巡らせるだけでなく、筆で表すと自分に言い聞かせられて迷いがふっ切れました。一年間頑張る気力がみなぎるようでした。翌日の毎日新聞にもこの記事が掲載されました。

